

大学院特別講義

(医歯学先端研究特論) (生命理工学先端研究特論)

(医歯理工学先端研究特論)

下記により大学院特別講義を行いますので、多数ご来聴下さい。

記

1. 講 師 株式会社ロッテ 中央研究所
ガム・キャンディ研究部 新開発第一研究室 平岡 康隆
基礎研究部 口腔科学研究室 土居 哲平
基礎研究部 分析研究室 坂ノ下典正

2. 演 題 ①チューインガムの基礎知識
②「ホワイトニングガム」の開発研究
③歯につきにくいチューインガム

3. 日 時 平成27年11月18日(水)
17時00分 ~ 19時00分

4. 場 所 7号館(歯学部校舎棟) 第2講義室

5. 内 容

①チューインガムは、マヤ文明を起源としアメリカで発展し世界的に普及している菓子である。普段目にする機会は少ないと思われるチューインガムの原料や製造工程や、チューインガム開発や製品の話、食品としての特徴などの説明を行い、試食などを通して大学や歯科での研究用素材としての応用の可能性もお話したい。

②商品(食品)はお客様のニーズに応える確かなコンセプトを構築することから始まり、研究担当がそれを達成できる最高スペックの設計でつくりあげる。さらに広告宣伝・パッケージ表示を効果的に用いて販売されていく。基礎研究の立場から商品開発までの概要をホワイトニングガムの開発を振り返りながら紹介したい。

③1983年からロッテより発売している「フリーズーン」は、義歯使用者でも安心して食べてもらえるよう、付着性の低い設計になっている。ガム付着性について、機器による測定方法を検討・開発して、一般的なガムとの差異を評価した。加えて、若年者と高齢者を対象にガムの付着性の官能評価を行った。これらの結果より、「フリーズーン」は「歯につきにくい」ことが示唆された。歯につきにくいガムの咀嚼力評価への応用についても併せて紹介する。

連絡先 中禮(ちゅうれい) (スポーツ医歯学分野 内線5867)